

地区別ワークショップの結果について

【目的】

第六次大野市総合計画に関する調査の一環として、地区ごとに SDGs の観点による住民満足度調査と意見交換を行うことで、地域住民の生の声を聞き、その内容を総合計画の策定における参考とする。

【手法】

- ①第五次大野市総合計画についての説明・SDGs についての導入
- ②総合計画の4つの柱と38の基本施策ごとに分類されたシートに、「満足・賛成」「不満・反対」「提案・意見あり」3種類のシールを貼付け
- ③シールの張られた項目について意見交換



【ファシリテーター】

株式会社 新時代 代表取締役 牧口 奏江 氏

上智大学文学部哲学科における単位取得を経て金沢大学人間社会環境研究科博士前期課程を修了、並行して国連大学のディプロマを取得。専門領域は企業倫理におけるコーポレートガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンス。2018年5月に金沢市においてSDGsを取り入れたコンサルティング会社を起業。

大野市、鯖江市などで、SDGs に関する講演、アドバイザー等の実績多数。



【参加者数】

地区	日時	参加者			場所
		総数	男性	女性	
下庄	8月 1日 (木)	20	15	5	下庄公民館
大野	8月 2日 (金)	36	29	7	学びの里めいりん
乾側	8月 21日 (水)	14	12	2	乾側公民館
小山	8月 22日 (木)	10	10	0	小山公民館
和泉	8月 23日 (金)	26	20	6	和泉公民館
阪谷	9月 5日 (木)	35	16	19	阪谷公民館
富田・五箇	9月 6日 (金)	14	10	4	富田公民館
上庄	9月 20日 (金)	38	29	9	上庄公民館
計		193	141	52	

※各地区区長会をはじめ地域づくり団体等に参加を依頼するとともに、「広報おおの」、公民館報、市ホームページにおいて広く参加を募った。

【結果と傾向】

①人が元気

全体の傾向	概ね満足
満足な施策   	4.福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催
	9.保健予防と地域医療の推進
	13.犯罪、事故、消費者被害がないまちづくりの推進
不満な施策  	5.共に力を合わせるふるさとづくり
意見	・地域活動の人手不足。若い世代が入ってこない ・集落での自助、共助が限界に達している ・地域を愛する気持ちを持つことが大切

②産業が元気

全体の傾向	不満
満足な施策  	14.中部縦貫自動車道の整備促進 21.雪に強いまちづくり
不満な施策     	16.人にやさしい道路環境の創出 20.公共交通手段の確保 23.越前おおの型農業の推進 29.雇用の確保と働く環境の整備
意見	・地域ぐるみの屋根雪下ろしが困難 ・国道 158 号バイパスの早期整備を希望 ・生活道路や歩道の除草がなされていない ・公共交通の利用者減少と、免許返納した高齢者の足の確保が課題 ・生活の基盤となり得る農業の確立が必要 ・企業誘致や若者の雇用確保が必要

③自然が元気

全体の傾向	概ね満足
満足な施策   	30.地下水の保全と湧水文化の再生
不満な施策  	34.次世代につなぐ持続可能な社会の形成
意見	・地下水はきれいだが、河川や水路は雑草やゴミが多い

④行財政改革

全体の傾向	不満
不満な施策  	35.人口減少対策と地方創生の推進 36.市民総参加・協働型の市政の推進
意見	・実際に人口が減っており、対策が不十分 ・市の情報が市民まで届いていない